

拒絶理由通知書

特許出願の番号 特願2002-223524  
起案日 平成17年 4月13日  
特許庁審査官 鈴木 重幸 9653 5Q00  
特許出願人代理人 鈴江 武彦(外 6名) 様  
適用条文 第29条第2項、第36条

17.6.18

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

A. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1-14
- ・引用文献等 1-2
- ・備考

引用文献1には、サーボパターンを内周側又は外周側から順次書き込むサーボライト方法が記載されている。また、引用文献2には、予めクロックが書き込まれたディスクにサーボライトする方法が記載されている。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開平05-002729号公報
2. 特開平07-037344号公報

B. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

記

- (1) 請求項5において、ディスクドライブの構成要素に、「サーボライタユニ

ット」を有するという記載は、請求項1－4のサーボライタ装置の記載を参照すれば無理がある。請求項7も同様である。

(2) 請求項8において、「リード／ライトチャネルを有し、前記サーボライタユニットは、当該リード／ライトチャネルに組み込まれている構成」と記載されているが、リード／ライトチャネルの意味が分からず、また、ユニットが組み込まれる意味も分からず不明確である。

(3) 請求項12において、「初期時に、前記ヘッドを前記ディスク媒体上の最外周位置まで移動させるステップ」と記載されているが、引用する請求項11には、「前記ヘッドを前記ディスク媒体上の最内周位置まで移動させるステップ」と記載されており矛盾している。

よって、請求項5, 7, 8, 12に係る発明は明確でない。

-----  
先行技術文献調査結果の記録

- ・ 調査した分野      I P C 第 7 版   G 1 1 B 2 1 / 1 0  
                            D B 名
- ・ 先行技術文献

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。